

平成22年度 研究紀要

広島県立庄原特別支援学校

ホームページアドレス

<http://www.shobara-sh.hirosima-c.ed.jp/>

TEL 0824-72-5111

FAX 0824-72-5088

目 次

表紙・目次

はじめに

1 平成22年度研究テーマ及び授業改善・研究推進体制 全体図

2 平成22年度公開授業研究会報告

(1) 実施要項

(2) 研究授業指導案

(3) 研究協議及び指導助言

(4) 講演会資料

はじめに

庄原特別支援学校は、「県北地域における唯一の特別支援学校として、専門性に基づく教育機能を発揮し、児童生徒の生きる力を育成するとともに、地域のセンター的役割を果たす」ことをミッションに掲げ、取り組んでいます。地域のセンター的役割を真に発揮していくためには、本校が授業改善を行い、研究成果を積み上げ、地域に情報提供できる専門性を構築していくことが重要であると考え、今年度も取り組んできました。

本校は平成21年度から「社会参加・自立を目指す生きる力を育む授業づくり」をテーマに、児童生徒の「生きる力」に繋がる活動を増やす授業づくりに取り組んできました。新学習指導要領において、「生きる力」を育成することへの道筋がより明確になっている中で、大変重要な取り組みであると認識しています。日々の授業が児童生徒の個別の教育支援計画、個別の指導計画を踏まえ、「自立と社会参加」につながる力となっているかを検証し、日々の授業での目標と評価の明確化に重点を置き、授業改善を行ってまいりました。特に、今年度は一人年間1回以上の授業研究を重点的に行い、また教材・教具の開発にも力を入れています。その成果を平成23年度2月に開催しました平成22年度公開授業研究会で発表したところです。

本校研究紀要をとおして、本校の取り組みの一端をご覧いただき、忌憚のない御意見をいただければ幸いです。

最後になりましたが、今年度、本校の授業改善や研究推進に際して御指導・御助言いただきました香川大学教育学部准教授 坂井 聡 氏、広島県教育委員会特別支援教育課指導主事 西本尚司 氏をはじめ、県教育委員会の皆様に心から感謝申し上げます。

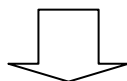
平成23年4月

広島県立庄原特別支援学校
校長 東内 桂子

1 平成22年度研究テーマ及び授業改善・研究推進 全体図

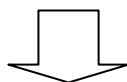
ミッション

県北地域における唯一の特別支援学校として、専門性に基づく教育機能を発揮し児童生徒の生きる力を育成するとともに、地域のセンター的役割を果たす。



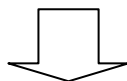
ビジョン

- ① 特別支援教育に関する専門性を確立し、授業の改善・充実により児童生徒の生きる力を育む。
- ② 相談や支援の態勢を整え、地域のセンター的機能を充実させる。
- ③ 信頼される学校を目指し、組織マネジメントを確立する。



平成22年度行動計画

各学部でテーマに基づいた一人年1回の研究授業を行い、研究協議をとおして授業改善を推進する。



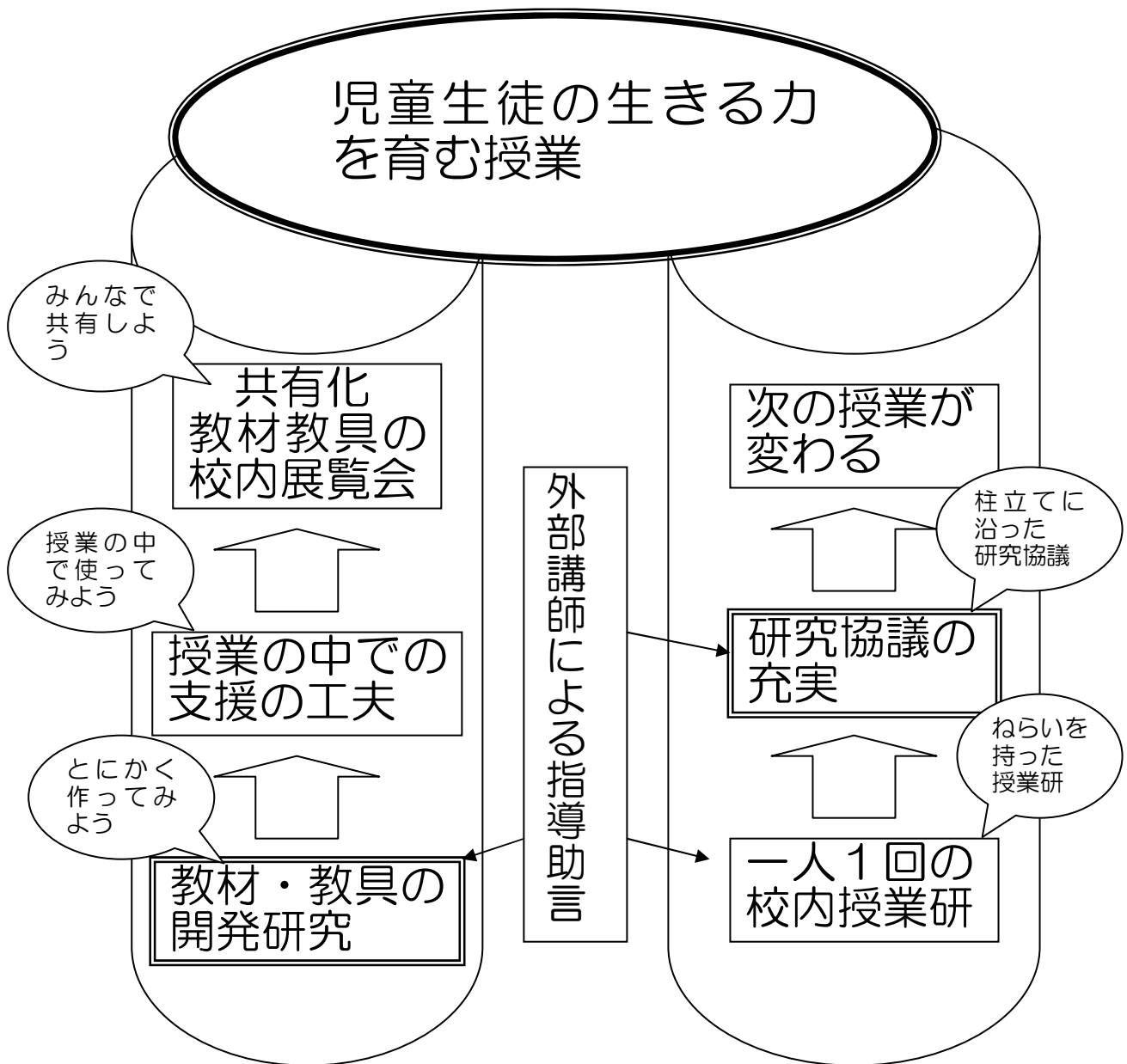
全校研究テーマ

「社会参加・自立を目指した生きる力を育む」
～そのために自主的・主体的活動を引き出す授業作り～

各学部でさらに具体的なテーマを決め、研究授業⇒研究協議⇒課題整理⇒改善を繰り返すことで授業改善を推進していく。

社会参加・自立を目指した生きる力を育む
～そのために自主的・主体的活動を引き出す授業作り～

児童生徒の生きる力を育む授業



日々の授業

2 平成22年度公開授業研究会報告

(1) 公開授業研究会実施要項

平成22年度公開授業研究会実施要項

1 期 日 平成23年2月4日(金) 12:30～17:10

2 場 所 広島県立庄原特別支援学校
〒727-0021 広島県庄原市三日市町4-4-4
(TEL) 0824-72-5111 (FAX) 0824-72-5088

3 日 程
12:30 13:00 13:50 14:15 15:00 15:40 17:00

受付	5時間目 研究授業	休憩 移動	学校説明	開会行事 全体会 研究協議	講演会	閉会 行事
----	--------------	----------	------	---------------------	-----	----------

4 テーマ

「社会参加・自立を目指す生きる力を育む授業作り」

5 公開する授業

対 象	教 科	場 所	授 業 者
中学部3年1組, 1・2年	作業学習「農業」	中学部3年1組	嘉戸英明 教諭

6 講演会について 講師：香川大学教育学部特別支援教育講座准教授 坂井 聡氏
演題「確かな社会参加につなげるためには」

7 指導助言者 広島県教育委員会 特別支援教育課 西本 尚司指導主事

8 参加申し込み

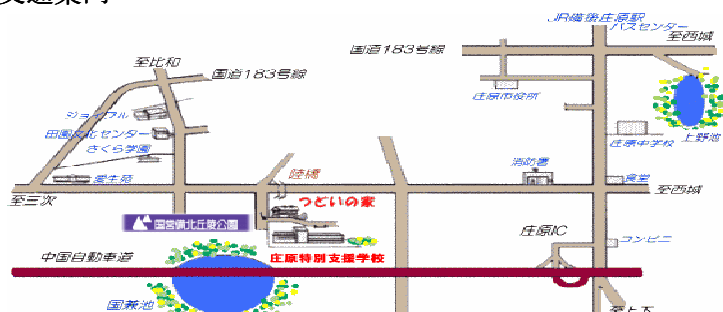
【申込先】 広島県立庄原特別支援学校
〒727-0021 広島県庄原市三日市町4-4-4
(FAX) 0824-72-5088 (担当者：隅田)
メールアドレス・・・shobara-sh@hiroshima-c.ed.jp

申し込み締め切り・・・平成23年1月28日(金)

*電話・FAX・メールにより申し込んでください。

9 駐車場 本校駐車場
※駐車場確保のため、自家用車御利用の場合は参加申込書に御記入ください。

10 交通案内



- JR 備後庄原駅より車で5分。
- 庄原ICより車で3分。

(2) 公開授業指導案

作業学習学習指導案

授業者 嘉戸英明 T1

(川上久枝 T2 隅田昌哉 T3 中所優子 T4)

1 日 時 平成23年2月4日(金) 13:20~14:10

2 場 所 3年1組教室

3 対 象 中学部3-1 1・2-1

4 単 元 「切り干し大根を作ろう」

5 単元設定にあたって

「生徒観」

作業学習(農業)の学習は単一学級1年生1名,2年生1名,3年生2名の計4名で行っている。3年生は,この3年間で繰り返し野菜,穀類の種蒔き,収穫を学習し,その中で,作業内容もある程度習得してきた。

この学習集団には,活動の速さ,丁寧さ,器用さなどに違いがあり,皆が同じよう活動していくには,少し困難を要する。

1年生,2年生は学習経験がまだ浅いが,活動に関しては理解が早く,初めての学習内容であっても,繰り返すことによって活動の仕方や流れを理解し,見通しを持って活動できるようになりつつある。

1年生Aは器具を使っての活動がとても好きで,人の活動をよく見ており,自分の順番が来ると,指示をしなくても,一人で活動する。少々,丁寧さに欠けることもある。

2年生Bは,時々,活動に取りかかるのに時間を要することもあるが,理解すると,自分で丁寧に活動を行なう。

3年生Cは,教員と一緒に活動すると,安心して活動する。時々,気が散ることがあるが,落ち着いて活動する。

3年生Dは,活動内容をよく理解し,一人で活動できるが,全体の流れに合わせて活動するのが,少々苦手である。

機具を使っての学習活動においては,丁寧に活動できる生徒,少々,丁寧さに欠ける生徒など,個人差はあるが,支援機具等を使用し,教員と一緒に活動することをとおして活動内容を理解しながら学習を継続している。

「単元観」

昨年度,作業学習の農業分野においては,収穫物を使って調理,加工をするための時間があまり確保できず,種蒔き,栽培,管理,収穫,調理(加工)の流れを学習できなかった。

これまで簡単なサツマイモ,白菜,大根の調理を行い,栽培,収穫,調理までの流れを学習してきた。今回の学習では,秋に種蒔きを行い,育てた大根を使い加工の学習を進めていきたい。大根は色々な調理に使われるが,本単元では,切り干し大根に加工する学習を行いたい。大根サラダ,大根の煮付けなどの料理は,調理すると直ぐに食べられるが,切り干し大根の加工では,加工の後,調理して食べるまでには,時間を要する。野菜の加工について学習するには,切り干し大根は主な活動が,「大根を切る」,「穴を開ける」,「紐に通す」という作業の繰り返しが中心になり,活動内容,方法が生徒にとっては理解しやすい。

他の調理とは違い,切り干し大根が完成するまでには,2,3ヶ月の時間を要するが,冬の寒さの中で,大根が変わっていく過程を観察しながら,作物の加工について学習を継続していきたい。

「指導観」

大根に穴を開ける活動においては,通常,穴を開ける際,円筒状の筒を使って穴を開けるが,本活動では穴あけ機具を生徒が使用しやすいように工夫し,生徒が自分で活動できるように支援を行う。

また、大根に紐を通して爪楊枝で固定するのは、一部の生徒にとっては、かなり困難を要するので、生徒がスムーズに活動ができるよう支援機具の制作を行い、活動を促し、支援を行いたい。

農作業において、もっとも重要なことは、協力して作業を行うことである。本時の活動は、一人で一連の活動を行うこともできるが、二人一組のグループを作り、協力して活動を行うことも学習させたい。

太い大根を輪切りにするには、かなりの力を要するとともに、危険も伴う。今回の授業では、「穴を開ける」、「紐に通す」「吊るす」活動に重点を置き、大根は前もって輪切りにしておく。

6 単元目標

大根の加工について学習する。

7 学習計画（全時間）

- ① 大根の成長を振り返ろう。・・・ 1時間
- ② 大根を調理しよう。・・・ 2時間
- ③ 切り干し大根を作ろう。・・・ 2時間（本時5／7）
- ④ 切り干し大根を調理しよう。・・・ 2時間

8 本時の目標

【全体目標】

- ・ 機具の仕組みを理解し、使用できる。
- ・ 穴あけ、紐通し、吊るしの活動を丁寧に行うことができる。
- ・ 友だちと協力して活動することができる。

【個別の目標】

	生徒の様子(実態)	目 標
A(1年)	活動内容を理解し、活動する。最後まで自分の力でやり遂げようとする。難しい時には自分で教員に支援を求める。	作業の流れを理解して、落ち着いて、丁寧に活動する。 Bの活動を意識し、Bと協力しながら「穴あけ」、「紐通し」、「吊るす」作業を行う。
B(2年)	活動に取り掛かるまでに時間を要することがあるが、理解すると、集中して取り組む。	Aと協力して「穴あけ」、「紐通し」、「吊るす」作業を行う。できる限り自分で活動する。
C(3年)	活動内容を理解するのに時間を要することがある。教員と一緒に活動することが多い。	一つずつの作業工程を理解し、活動する。 Dと協力して「穴あけ」、「紐通し」、「吊るす」作業を行う。
D(3年)	活動内容をよく理解し、素早く活動するが、活動内容によっては、少々丁寧に欠けることがある。	教員の指示に従い活動する。丁寧に作業を行う。 Cと協力して活動の流れに従って「穴あけ」、「紐通し」、「吊るす」作業を行なう。

9 準備物

輪切り大根 加工した切干大根 包丁 まな板 トレイ 穴あけ機具 紐 爪楊枝 紐通し機具 紐固定機具 吊るし台 爪楊枝固定台 椅子 雑巾 手拭タオル

10 学習過程(別紙参照)

10 学習過程

過程	指導上の留意点(□課題 ○支援 ☆評価)				
	全体	A	B	C	D
導入	<ul style="list-style-type: none"> 初めの挨拶をする。 前時の学習を簡単に振り返る。 本時の活動について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時の説明を聞く。 前時の写真を提示する。 ☆集中して聞けたか。 切り干し大根を作ることに興味を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時の説明を聞く。 前時の写真を提示する。 ☆集中して聞けたか。 切り干し大根を作ることに興味を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時の説明を聞く。 前時の写真を提示する。 ☆集中して聞けたか。 切り干し大根を作ることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時の説明を聞く。 前時の写真を提示する。 ☆集中して聞けたか。 切り干し大根を作ることを理解する。
展開	<ul style="list-style-type: none"> グループ分けを行う。 大根の穴の開け方について学習する。 大根の穴開けを行う。(各自、十枚を固定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 二人組のペーパーを作り、活動相手を確認させる。 穴開け機具を使って穴を開けるところを見て、機具の使い方について学習させる。 一人が台に大根を置き、もう一人が穴を開ける(一人十枚)。 中心に穴が開いているか、確認しながら活動させる。 順番に繰り返させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ペーパーの確認をする。 機具の仕組みと、使い方を理解する。 ゆっくり説明しながら穴を開け理解を促す。 支援機具を使って穴を開ける。 大根を台に置く活動と大根に穴を開ける活動を区別して活動する。 「穴開け」と「台載せ」が区別できない場合は教員が声かけを行なう。 大根を十枚セットにし、穴を開ける数が理解できるよう支援する。 大根を置く位置に印を付けておく。 大根の中心を意識して 	<ul style="list-style-type: none"> ペーパーの確認をする。 機具の仕組みと、使い方を理解する。 ゆっくり説明しながら穴を開け理解を促す。 支援機具を使って穴を開ける。 ペーパーと交代で活動する。 大根を十枚セットにし、穴を開ける数が理解できるよう支援する。 大根を置く位置に印を付けておく。 大根の中心を意識して 	<ul style="list-style-type: none"> ペーパーの確認をする。 機具の仕組みと、使い方を理解する。 ゆっくり説明しながら穴を開け理解を促す。 支援機具を使って穴を開ける。 大根を台に置く活動と大根に穴を開ける活動を区別して活動する。 「穴開け」と「台載せ」が区別できない場合は教員が声かけを行なう。 大根を十枚セットにし、穴を開ける数が理解できるよう支援する。 大根を置く位置に印を付けておく。 大根の中心を意識して穴を開けているか。
閉		<ul style="list-style-type: none"> ペーパーの確認をする。 機具の仕組みと、使い方を理解する。 ゆっくり説明しながら穴を開け理解を促す。 支援機具を使って穴を開ける。 ペーパーと交代で活動する。 大根を十枚セットにし、穴を開ける数が理解できるよう支援する。 大根を置く位置に印を付けておく。 大根の中心を意識して 	<ul style="list-style-type: none"> ペーパーの確認をする。 機具の仕組みと、使い方を理解する。 ゆっくり説明しながら穴を開け理解を促す。 支援機具を使って穴を開ける。 ペーパーと交代で活動する。 大根を十枚セットにし、穴を開ける数が理解できるよう支援する。 大根を置く位置に印を付けておく。 大根の中心を意識して 	<ul style="list-style-type: none"> ペーパーの確認をする。 機具の仕組みと、使い方を理解する。 ゆっくり説明しながら穴を開け理解を促す。 支援機具を使って穴を開ける。 大根を台に置く活動と大根に穴を開ける活動を区別して活動する。 「穴開け」と「台載せ」が区別できない場合は教員が声かけを行なう。 大根を十枚セットにし、穴を開ける数が理解できるよう支援する。 大根を置く位置に印を付けておく。 大根の中心を意識して穴を開けているか。 	

展	<ul style="list-style-type: none"> 大根を紐に通し、固定する方法を学習する。 紐通しを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員が実際に紐を通すのを見せ、活動内容を理解させる。 ペアを紐に爪楊枝を挿す生徒と大根を通す生徒に分け順番に通させる。早く通し終わったグループは他のグループが終わるのを待たせる。 	<p>穴を開けているか。</p> <p>○穴の開け方が十分理解できていない場合は教員がもう一度指示する。</p> <p>○大根の固定の仕方を学習する。</p> <p>○活動の流れが理解しやすいようゆっくり説明する。</p> <p>○紐通し用の機具を用意する。</p> <p>○爪楊枝を挿す所に穴を開け、印を付けておく。</p> <p>○仕組みが理解できない場合は、一、二枚通して見せる。</p> <p>○爪楊枝を容器に入れておく。</p>	<p>穴を開けているか。</p> <p>○穴の開け方が十分理解できていない場合は教員がもう一度指示する。</p> <p>○大根の固定の仕方を学習する。</p> <p>○活動の流れが理解しやすいようゆっくり説明する。</p> <p>○紐通し用の機具を用意する。</p> <p>○爪楊枝を挿す所に穴を開け、印を付けておく。</p> <p>○爪楊枝が持ちやすいよう持つ所を太くしておく。</p> <p>○爪楊枝を一本ずつ台に固定しておき取りやすくしておく。</p> <p>○仕組みが理解できない場合は、一、二枚通して見せる。</p> <p>☆印を目安に爪楊枝を挿し、大根を通したか。</p>	<p>穴を開けているか。</p> <p>○穴の開け方が十分理解できていない場合は教員がもう一度指示する。</p> <p>○大根の固定の仕方を学習する。</p> <p>○活動の流れが理解しやすいようゆっくり説明する。</p> <p>○紐通し用の機具を用意する。</p> <p>○爪楊枝を挿す所に穴を開け、印を付けておく。</p> <p>○爪楊枝が持ちやすいよう持つ所を太くしておく。</p> <p>○爪楊枝を一本ずつ台に固定しておき取りやすくしておく。</p> <p>○仕組みが理解できない場合は、一、二枚通して見せる。</p> <p>☆印を目安に爪楊枝を挿し、大根を通したか。</p>	<p>穴を開けているか。</p> <p>○穴の開け方が十分理解できていない場合は教員がもう一度指示する。</p> <p>○大根の固定の仕方を学習する。</p> <p>○活動の流れが理解しやすいようゆっくり説明する。</p> <p>○紐通し用の機具を用意する。</p> <p>○爪楊枝を挿す所に穴を開け、印を付けておく。</p> <p>○仕組みが理解できない場合は、一、二枚通して見せる。</p> <p>○爪楊枝を容器に入れておく。</p>	<p>穴を開けているか。</p> <p>○穴の開け方が十分理解できていない場合は教員がもう一度指示する。</p> <p>○大根の固定の仕方を学習する。</p> <p>○活動の流れが理解しやすいようゆっくり説明する。</p> <p>○紐通し用の機具を用意する。</p> <p>○爪楊枝を挿す所に穴を開け、印を付けておく。</p> <p>○仕組みが理解できない場合は、一、二枚通して見せる。</p> <p>○爪楊枝を容器に入れておく。</p>
開	<ul style="list-style-type: none"> 大根の吊るし方を学習する。 大根を吊るす。 	<p>○教員が実際に吊るして見せ、仕組みを理解させる。</p>	<p>○大根の吊るし方を理解する。</p> <p>○仕組みを理解して大根を吊るす。</p>	<p>○大根の吊るし方を理解する。</p> <p>○仕組みを理解して大根を吊るす。</p>	<p>○大根の吊るし方を理解する。</p> <p>○仕組みを理解して大根を吊るす。</p>	<p>○大根の吊るし方を理解する。</p> <p>○仕組みを理解して大根を吊るす。</p>	<p>○大根の吊るし方を理解する。</p> <p>○仕組みを理解して大根を吊るす。</p>

展 開			○干し台にフックを付けておき、固定しやすくする。 ○紐から棒を抜く時、斜めに引くよう声かけを行なう。	○干し台にフックを付けておき、固定しやすくする。 ○紐から棒を抜く時、斜めに引くよう声かけを行なう。	○干し台にフックを付けておき、固定しやすくする。 ○紐から棒を抜く時、斜めに引くよう声かけを行なう。	○干し台にフックを付けておき、固定しやすくする。 ○紐から棒を抜く時、斜めに引くよう声かけを行なう。	○干し台にフックを付けておき、固定しやすくする。 ○棒をゆっくり抜きよう声かけを行なう。
	・ペーパーで穴開け、紐通し、吊るしの活動を繰り返し行う。		○作業順序を理解し、協力して活動する。 ☆作業手順を意識して活動したか。	○作業順序を理解し、協力して活動する。 ☆作業手順を意識して活動したか。	○作業順序を理解し、協力して活動する。 ☆作業手順を意識して活動したか。	○作業順序を理解し、協力して活動する。 ☆作業手順を意識して活動したか。	○作業順序を理解し、協力して活動する。 ☆作業手順を意識して活動したか。
ま と め	・出来上がった切り干し大根を見る。	・自分たちで大根の加工ができたことを実感させる。	○干し台にフックを付けておき、固定しやすくする。 ○紐から棒を抜く時、斜めに引くよう声かけを行なう。	○干し台にフックを付けておき、固定しやすくする。 ○紐から棒を抜く時、斜めに引くよう声かけを行なう。	○干し台にフックを付けておき、固定しやすくする。 ○紐から棒を抜く時、斜めに引くよう声かけを行なう。	○干し台にフックを付けておき、固定しやすくする。 ○紐から棒を抜く時、斜めに引くよう声かけを行なう。	○干し台にフックを付けておき、固定しやすくする。 ○紐から棒を抜く時、斜めに引くよう声かけを行なう。
	・次回の学習について知る。 ・片付け ・終わりの挨拶。	・次回の学習内容について簡単に触れる。	○干し台にフックを付けておき、固定しやすくする。 ○紐から棒を抜く時、斜めに引くよう声かけを行なう。 ○作業順序を理解し、協力して活動する。 ☆作業手順を意識して活動したか。	○干し台にフックを付けておき、固定しやすくする。 ○紐から棒を抜く時、斜めに引くよう声かけを行なう。 ○作業順序を理解し、協力して活動する。 ☆作業手順を意識して活動したか。	○干し台にフックを付けておき、固定しやすくする。 ○紐から棒を抜く時、斜めに引くよう声かけを行なう。 ○作業順序を理解し、協力して活動する。 ☆作業手順を意識して活動したか。	○干し台にフックを付けておき、固定しやすくする。 ○紐から棒を抜く時、斜めに引くよう声かけを行なう。 ○作業順序を理解し、協力して活動する。 ☆作業手順を意識して活動したか。	○干し台にフックを付けておき、固定しやすくする。 ○紐から棒を抜く時、斜めに引くよう声かけを行なう。 ○作業順序を理解し、協力して活動する。 ☆作業手順を意識して活動したか。

11 評価の観点

「全体の評価」一連の作業の流れ、機具の使い方を理解し活動したか。
 「個別の評価」個々の目標を達成できたか。

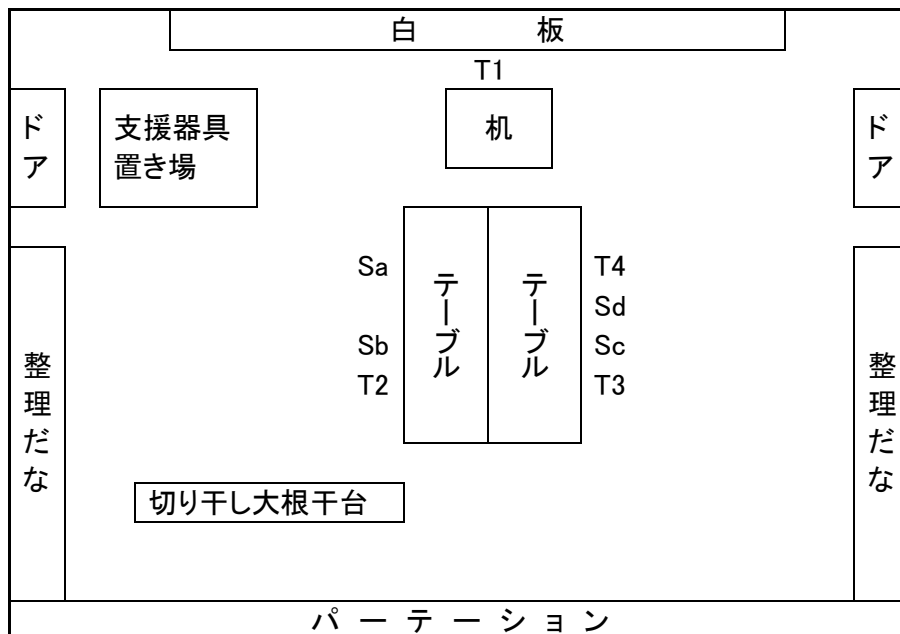
12 年間指導計画

目標

- ・自然の仕組みや働きに関するさまざまな事柄について学び、日常生活に生かす。
- ・作物の成長を観察する。
- ・農機具の安全な使用方法について学習する。

4月	年間計画を立てる。 切り干し大根はずし。 ジャガイモの植え付け	10月	イチゴの苗植え 白菜, 青梗菜の苗 植え 大根の種蒔き かぶの移植
5月	すいか, キュウリの苗植え。 枝豆の種蒔き (ポットに)	11月	落花生の殻はずし サツマイモの収 穫 サツマイモ洗い 焼き芋
6月	大豆の種蒔き (ポットに) サツマイモの苗植え 落花生の種蒔 き(ポットに)	12月	落花生の殻むき 焼き芋 大根, 青梗菜, 白菜の収穫
7月	ジャガイモの収穫, 調理	1月	白菜, 大根の収穫, 調理
8月	スイカ, かぼちゃの収穫, 調理	2月	切り干し大根の加工 白菜, 大根の 調理
9月	サツマイモの蔓むき, 調理 わけぎの植え付け かぶの種蒔き	3月	畑の耕作

13 教室配置図



(3) 平成22年度 公開授業研究会 研究協議及び指導助言

(授業者から)

- ・ 生徒が主体的に授業に参加できるように、様々な支援器具を作り活用した。支援器具の活用で、生徒の「やってみよう」「やってみたい」という気持ちを高めた。
- ・ 2人組みを作り活動したのは、将来社会に出て行くための「人間関係の構築」を授業の中で知ってもらいたかったからである。

(参観者から)

- ・ 多くの支援器具が興味深く、これから指導する上でとても参考になった。
- ・ 授業の中に作業学習の要素が入っていたので、将来働くことへの意欲づけができており良かった。日頃から目標を持ち丁寧にものを作るよう指導することは、「売れるものをつくる」につながっていくと知り、勉強になった。
- ・ 説明が多かった。「次はどうする？」など、子どもとのやりとりを増やすべきだった。
- ・ つまようじを黒い印のところに刺す作業は集中がいる作業であるが、生徒は一生懸命に手を動かし作業をしていた。
- ・ 2人組で活動することで、人間関係の構築など将来へつながっていくと分かった。
- ・ 目的を明確に示して作業させることの大切さを知った。
- ・ 分かる喜びを戴せしめる。
- ・ 大根の穴あけ作業において、2人組で行うのではなく、1人で行う方が作業しやすかったのではないかと。また、ひもにつまようじを刺さなくても、普通に通して作業をした方が良かったのではないかと。
→1人で作業することはしんどいけれど、側に誰かが居てくれるだけでやる気が出る。(授業者)

特別支援教育課 指導主事 西本尚司氏より指導助言

- ・ 健康・安全への配慮は当然のことながら、教材・教具の提示も言葉だけでなく視覚情報も用いた絵カード等を提示する等、分かりやすい支援のあり方の工夫が必要である。
- ・ 必要最低限の支援で、生徒が主体的にやる気を持ち授業に臨むようにすることが大切である。支援過多では、生徒のできることも奪ってしまう。
- ・ 授業前に教員同士の連携を密に取り、言葉かけなどを統一しておく必要がある。
- ・ その日の活動手順をカードで提示することにより、生徒は目的を持って活動でき、不安もなくなる。
- ・ 言葉かけの促しで、詳しく分かりやすい活動にする。今回であれば、つまようじを刺したら「いいよ」と言葉かけをし、次に大根を入れていくようにする。
- ・ 作業活動が、就職に繋がる。
- ・ 繰り返し授業を行うなかで、「達成感」「成就感」を感じ取れるよう支援する。
またそのなかで、支援内容を生徒と授業者のなかで変容させていくことが大切である。

(4) 平成 22 年度公開授業研究会 講演会資料

確かな社会参加につなげるためには

香川大学教育学部 坂井 聡

1. 目的は社会的自立
2. ICIDH から ICF へ
 - 1980年に定められた ICIDH では
機能障がい→能力障がい→社会的不利 の一方通行の流れで社会的な環境や物理的な環境の役割を反映していなかった
 - 2001年に公表された ICF では
生活機能と障がいは、心身機能と構造，個人レベルの活動，社会への参加の次元を表す包括的用語として用いられ、障がいは健康状態と背景因子との相互作用ないしは複雑な関係と考える
3. 自立観の変化にどう対応するの？
 - 困っていることは何なの？と考える
 - あなたも困っているの？私も困っているの？
 - 困っていることをどう解決するの？
 - 失敗は怖いけど具体的にやってみる
 - 訓練だけでは克服できないんでしょ
4. 社会参加していくうえで困っているのではないかと考えられること
 - 伝えられたことが理解できなくて
 - 伝えられたことを記憶しておくことで
 - 周囲の状況から判断することに
 - 周囲の情報を取捨選択することに
 - 適切な表現方法で伝えることに
5. どう考えますか？
 - 安心できる環境を整えることから
 - あなたにとって安心できる環境は必要ですか？不必要ですか？
 - わかっていないのは子どもが悪いからですか？
6. 基本方針は
 - 身近な環境を予測可能で理解しやすいものにする
 - 自律性の獲得
 - 自発性の獲得

7. どう考えればいいのか

- まずは、できてよかったねから
- 次は、これならできるかもへ

8. 伝えていますか？本当に

- 見通しをもてない世界にいることを強要することは心理的虐待です
- わかるように伝えるための構造化するのです
- 手がかりのない世界で生活できますか？
- 指示待ちの状況を作らないようにすることになります
- 行動管理ではなく自律性を高めるためです
- その人にあった構造化の方法があります

9. もう一度考えましょう

- ただ単に参加しただけでは不十分
- 環境を整える
- 自己満足になっていないか
- 本当にわかっているの？
- 愛情だけでは変わらないかも

10. 身の回りのことから考える

- 何ができて、何ができないのか
- 課題分析で見えることも
- つまづきがわかれば手立てが見える

11. 服を着ること

- トップダウンの発想も忘れないで
- 好きな服で練習することが効果的
- 練習のときは、着る前に確認して、着てから後も確認しましょう
- うまく着れていたら褒めましょう

12. 偏食の指導はどうするか

- おいしく、楽しくが食べてみようにつながります
- 人間は身の安全を守るようにセットされています
- 安心できることが食べることの第一歩
- 運動も大切
- あまみ、脂質、だしは誰もが好きなものです

13. トイレは定時の排尿指導から

- 出そうな雰囲気をつかまえましょう
- どのくらいの間隔で出るのかチェックしましょう
- 一度の成功が
- お友だちも一緒に行けばいいかも
- トイレに行くときはトイレのカードを見せましょう

14. 働くことから考える

- 役割を果たす経験ができるように
- 始まりと終わりを理解できるように
- できたことがはっきりわかるような物から
- 一対一の対応は大切です
- 形や色の弁別も大切です

15. 就労について考える

- 現場実習は将来の生活のシミュレーション
- いろいろな就労の形態を考えてみれば
- 下請け業者におろしてみたら
- 既存の枠にとらわれない柔軟性で
- 職業センターに協力を

16. 楽しむことから考える

- 一人で過ごす時間を考える
- イベントの企画が余暇ではない
- ガイドヘルパーなど人材を生かす
- ネットワークを作っておく

17. サポートブックを作ってみる

- 子どもの情報を適切に伝えるために
- 情報を共有できれば、安心できる
- 子どもとの間の情報の共有にもなります
- 子どものためのサポートブックとは
- 携帯電話を使ったサポートブックの研究も進んでいます

18. 当たり前の生活を

- もう一度基本に戻る
- 参加の制約や活動の制限が障がい
- 克服するから付き合うへ

19. もう一度確認します

- やってみませんか
- 一人で悩まないで
- 今できることを何度でも
- 愛情ですか技術ですか？

20. アイデアをどこで活かす

- よし、この場面からやってみよう
- 場面を考えればアイデアもうかんでくる
- 役割を果たすことができる場面で
- 感謝されたり褒められる経験
- これをしたら何か楽しい！！望みもかなう！！

21. 視点を変えなきゃ

- その子はどう考えているのだろうか？
- その人が何を苦手としていて、何に困っているのかを考えてみる。
- 私が変わることから